



湘南桜友会報

第 21 号 平成 27 年 6 月 20 日発行

発行責任者 高澤 寛
編集責任者 鐘ヶ江 善道
事務局 藤沢市鶴沼松が岡 4-16-26
野口 記一方

～ご挨拶～

湘南桜友会会長 高澤 寛(昭和 35 年 政経)

5 月 30 日(土)、第十二回湘南桜友会総会は、無事終了いたしました。この一年間会員の皆様方には一方ならぬご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

さて湘南地域は、広く相模湾に面しております。大正 12 年(1923 年)9 月 1 日関東大震災では大きな被害を受けました。藤沢市でも 30 余名の方が亡くなりました。当時は家屋の数も少なく住人も少なかった為にこの程度の被害で済んだようですが、現在もし相模湾で大地震が発生すれば大変な被害が発生すると考えられます。其のため藤沢市近隣市町村でもいろいろ対策を考え、市民・町民等を対象に災害訓練や避難場所確保等努力をされておられます。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災後、湘南地域、特に海岸に近い場所は地価が 2 割程下落致しました。しかし暫くすると戻り始め今ではむしろ少し高くなっております。近頃火山活動も活発になっております。御嶽山、箱根、そして口永良部島など危険極まりない状況が続いております。このような場所に住みながら何故人々はややもすると無関心とも思える状態でいられるのでしょうか?諦めているのか、なるようにしかならないと考えているのか、市や町が対応してくれると考えているのか、喉元過ぎればなんとやらで頭の片隅に押し込んでしまっているのか、避けては通れない問題である筈だと思います。特に湘南地域に住まう我々にとっては地震、津波に対する関心をもう一度呼び起こし、議論すべきと考えます。湘南桜友会でもこのテーマに取り組むよう提起したいと考えております。先のことは判りませが何れやってくる大地震、大津波に対しどう対応するのか我々の世代か次の世代のことかも知れませんがやるべきことはした方が良くと思います。

2 年前から始めました学習院出身者による新春落語会は皆様のご協力のもと来年 1 月 3 回目を迎えます。

す。今回は学習院出身の中でも長老的立場の柳家喜多八師匠をお迎えし古今亭文菊、林家はな平そして前座 1 名の 4 名で開催する予定にしております。特に喜多八師匠については皆様からのご要望のもとでお願いをいたし出演のはこびとなりました。ぜひご来場頂きますようお願い申し上げます。またその他の行事につきましても担当の役員が腕によりをかけて頑張っておりますので何卒ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

本年一年ご指導ご鞭撻くださいますよう、また会員の皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。

～井上寿一学習院大学第 12 代学長講演要旨～

来年 4 月に国際社会学部(仮称)が開設されます。法学部、経済学部、文学部、理学部、専門職大学院、各大学院、3 センター、付属研究所の充実もめざま



しく、過去の実績を踏まえて、未来へ大きく飛躍する絶好の機会を迎えました。ここに新しい学習院大学をめざして、次の 3 つのビジョンと 10 の政策を掲げました。目指すのは「開かれた〈知〉のコミュニティ」です。

前途は楽観を許しませんが、新しい学習院大学の創造をめざします。

I UI(University Identity)の再確立

- 1 (自由) と (公共) の価値を実現
- 2 開放的な中規模大学の新しい (かたち)

II 世界と社会に広がるネットワーク

- 3 在学中に全学生が一度は海外に
- 4 多彩なメディア広報戦略の展開

- 5 実地で鍛える教養力
- 6 卒業生・在校生関係者とのインターフェイス
- III 目白の杜のコミュニテイ
- 7 入学試験制度の効率化による多様な志願者の拡大確保
- 8 学習支援センターの設置
- 9 教育研究の評価システムの多様化とFDによる教育研究へのフィードバック
- 10 キャンパスライフの四季のシンボル化
(全文はホームページに掲載しております。)

- * 6月中旬 「会報 21 号発行」
 - * 8月 1日(土) 「地引網大会」
 - * 9月 27日(日) 「第 19 回 S U C 親睦交流会」
 - * 10月 31日(金) 「湘南を巡るゴルフ大会」
 - * 11月 「日帰りバス旅行」
 - * 12月 「秋季ウォーキングの会」
 - * 12月 「第 22 号会報発行」
 - * 12月 12日(土) 「クリスマス・年忘れ懇親会」
- 平成 28 年
- * 1月 31日(日) 「第三回 新春落語会」
 - * 2月 「東慶寺座禅と観梅、句会」

～第 1 2 回総会・懇親会報告～

第 1 2 回総会・懇親会が 5 月 3 0 日 (土) 藤沢商工会館 (ミナパーク) で開催されご来賓を含め 6 2 名の参加がありました。総会では 2 6 年度の事業報告、会計報告、2 7 年度の事業計画のご承認と母校への 1 0 万円の寄付が可決されました。昨年までホテルで開催しておりましたが、今回は商工会館での開催となり、役員の皆さん総出による手作りの運営となりました。ご講演は井上学習院大学長をお招きし、ご来賓は学校から岩浅、平野両常務理事、桜友会から三野副会長、鎌倉桜友会の石島会長、小田原桜友会の小西会長がご出席いただきました。井上学長の熱のこもったご講演の後、懇親会に移りましたが、ビュッフェスタイルで皆様自由に席を移動して会話の輪が広がり、特に井上学長の周りにはご挨拶の列ができるなど時の経つのも忘れて和やかな会となりました。

[平成 26 年度決算報告]

収入の部		支出の部	
年会費	310,000	通常運営費	339,886
事業収入	1,580,000	事業費	1,479,491
受取利子	75	学習院へ寄付	100,000
前期繰越金	1,101,176	次期繰越金	1,071,874
合計	2,991,251	合計	2,991,251

本年度も 10 万円を「湘南桜友会一同」として「学習院サポーターズクラブ」に寄付いたしました。

[平成 27 年度事業計画・サークル活動予定]

平成 27 年

- * 3月 31日(火) 「春季ウォーキングの会」
- * 5月 30日(日) 「第 12 回総会・懇親会」

[平成 26 年度後期事業活動・サークル活動報告]

～第 11 回クリスマス・年忘れ懇親会～

平成 2 6 年 1 2 月 6 日 (土) 午後 7 時より湘南ク



リスタルホテルにて開催いたしました。定例のグランドホテル湘南の閉鎖により、場所を移し、時間も 1 時間繰り下げての開始となりましたが、5 4 名の方々がご参加くださいました。今回のアトラクションは、ボサノバギターの木村純氏 (昭和 4 9 年法学部卒) とサックスの三四郎氏によるボサノバデュオ「SABATOS」をお招きし、ジャズやクラシックなどの演奏で、終始大人の雰囲気を楽しみながら、親睦を深めました。

～第二回湘南落語会のご報告～

2 月 7 日 (土) に第二回湘南新春落語会を藤沢商工会館ミナパークで開催致しました。前回同様、出演者には本院同窓の古今亭文菊と林家はな平のお二人をお迎えし、180 名の方々にご参加頂き、楽しいひと時を過ごしました。

来春は、文菊、はな平に加え、同じく本院同窓の柳家喜多八と前座 1 名を加えた 4 名で、1 月 31 日

に藤沢市民会館での開催が決定して居ります。

落語は扇子と手拭と巧みな話術、所作だけで人物や場面を表現する日本の誇るべき芸術の一つです。会場も変わり、席数も 200 席から 250 席に増えます



ので、お誘いあわせの上更に多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

～鎌倉・東慶寺にて観梅・句会のご報告～

平成 27 年 2 月 18 日(水)北鎌倉東慶寺にて「安倍先生墓参、観梅、新春句会、座禅会」を行いました。



当日は生憎の小雨になり、肌寒い中、安倍先生墓参は、献花、線香の後浦田さんの音頭で院歌を歌いました。観梅も 2～3 分咲きで満足出来る状態では無く残念でしたが書院での新春句会、本堂での座禅会は楽しく和気あい合いの雰囲気「参加することに意義があり、老化防止」の役割は果たせました。

新春句会は参加者自己紹介の後、前段で中名生大先輩の「芭蕉の謎と蕪村の不思議」と題する講演を頂き、続いて小菅先輩の「蕉風十哲」の講義を頂きました。書院の床の間には芭蕉「一翁十哲」の掛軸が飾られ、句会に相応しい雰囲気がありました。本番は木下雅游師の下で俳句創作、選考、作為発表、講評などで楽しく過ごしました。投句を含め全部で 24 句を「感賞」し楽しみました。

～平成 27 年・春・第 5 回バス旅行のご報告～

平成 27 年 3 月 20 日(金)「春の甲斐路を巡るバス旅行」と銘打ち、6 組のご夫婦連れを含む 25 名が参加して開催されました。 前回の第 4 回は雨に祟られましたがこの日は天候にも恵まれ、最近開通した圏央道を経由し、2027 年開業を目指し時速 500 km を体感できるリニアセンターを見学、信玄餅で有名な桔梗屋で包装体験し、マンズワイン勝沼ワイナリーを見学しました。



昼食は甲府富士屋ホテルで和食を堪能してひと時を優雅に過ごし、往復はサロン付きの専用デラックスバスで車窓から桜・桃等の花見もできて、参加者の皆様もご満足な一日の旅でした。

～春季・ウォーキングの会～

3 月 31 日(火)、馴染み深い長谷寺から、江の島へのルートでしたが、五分咲きの桜と、好天に恵まれ軽やかなウォーキングを楽しめました。何時も車で



素通りしていた、伝上杉憲方の墓に立ち寄ったり、龍口寺仏舎利塔への急登を制覇し、茅ヶ崎方面の海岸線、大庭の小高い森などの絶景に酔いしれました。江の島では、小粋なイタリアランチとサービスのビールに大満足でした。しかも、デザート付。新たな訪問先を発見しました。全行程 8,5 キロでした。又、

19 名の方々が参加されました。

～湘南藤沢市民マラソンボランティアに参加して～

菅澤万里子(昭和 51 年短大人文)

1 月 25 日日曜日冬の澄み切った朝の空気の中を集合場所の鵜沼橋に着いた私、これから始まる初めて



の体験に身が引き締められました。私達ボランティアの仕事は走ってくるランナーへの水分補給です。中学生ボランティアと一緒に紙コップに水やスポーツドリンクをたくさん用意しました。8 時 30 分の江ノ島をスタートしたランナーが次々走ってきます。約 8600 人が参加した大会にはキティちゃん、スパイダーマン、メイド姿のおじさん他いろいろな人がいました。ふじさわ観光親善大使のつるの剛士さんや DJ・HAGGY さんもいらっしやったようです。始めの内はなかなか声も出せませんでした、中学生の「頑張ってください!」「ファイト!」の声に誘われて、いつの間にか一緒に声を出していました。私たちの声に答えて手を振る人やハイタッチをする人もいて、ランナーとボランティアみんながひとつになって大会が進行していることを感じ、とても楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。

【湘南藤沢市民マラソン大会ボランティア募集】

第 6 回湘南市民マラソンは、平成 28 年 1 月 24 日(日)に開催の予定です。今回も「SUC」(湘南藤沢地区大学同窓会)交流・親睦会のボランティア活動の一環として参加いたします。お世話役のボランティア活動に、積極的な参加をお待ちしております。申込は湘南桜友会で行い、正式エントリー決定後当会からご連絡致します。まずは当会幹事長の野口へご連絡をお願い致します。

〒251 - 0038 藤沢市鵜沼松が岡 4-16-26

TEL0466-22-2575 野口記一

【平成 26 年度新入会員】

氏名	卒年・学部	地域
西五辻 信幸	昭和 53 年 経済学部	横浜市
後藤 直	昭和 48 年 文学部	横浜市

2 名の方の入会があり、27 年度の名簿に登録いたしました。よろしくお願いたします。

～ 会員短信 ～ 本号からスタート

第 12 回総会の返信はがきより

***村田温子(昭和 53 年大学文学部)**

鎌倉女子大学教育学部に勤めております

***輪島弓子(昭和 59 年大学法学部)**

今春、娘も日文科を卒業し湘南桜友会にお世話になります。よろしくお願いたします。

***高田良隆(平成 9 年大学法学部)**

最近、大学入試用の基本英文集を再読し、英語翻訳をする際の美しい日本語の使い方の発見をすることができました。

***岡本純代(昭和 43 年大学文学部)**

本年度も科目等の履修生で目白に通っております。昔と変わらぬキャンパスです。

湘南桜友会のホームページをご覧ください!

<http://gakushuin-shonanou.jimdo.com/>

学習院桜友会のホームページへもリンクしています。又皆様の活動状況, 情報等の投稿をお待ちしています。

事務局野口 E-メール ryunorinogu@gmail.com

宛てご一報ください。

編集後記

前任の佐藤 清崇幹事が多忙の為、5 年間の編集業務から離れられました。長い間、ご苦勞様でした。後任の鐘ヶ江(昭和 45 年 理学部)と申します。本会報のさらなる発展に努力いたします。

本号から、会員短信コーナーをスタート致します。会員間の交流の一助にご活用頂ければと願っております。又、皆様の積極的な投稿をおまちしております。